

# こうとう民報

2013年12月号 110

江東区の職場・地域、議会など暮らし・平和を守る運動をご紹介します。

発行 江東区民報編集委員会  
責任者 猪又 武夫  
住所 江東区東陽2-3-5-203  
電話3648-5155 FAX3648-5137  
ホームページ  
http://www.koto-minpo.jp/

# 憲法を生きかし、くらしといのちを守る!

## 区高齢者集会 第25回江東区高齢者集会



「25回江東区高齢者集会」が11月23日、総合区民センターで開かれ、150名が参加しました。今回の集会は、午前10時から午後5時までの間、東京大空襲・戦災資料センター館長が記念講演、午後は「原発汚染問題」「高齢者の医療・福祉・介護」など四つの分科会が開かれました。

集会は、宇野勲実行委員長の開会挨拶に続き、ビデオ「君知ってる? 首都炎上 アニメ東京空襲」を上映。一夜にして10万人以上が亡くなった1945年3月10日東京大空襲。浅草で被災し父と弟を亡くした女の子、言問橋で被災し父母を亡くした男の子、学校のプールにつかたが3人の子どもを亡くした母親など、3人の体験の証言をもとに作成されたアニメ映画です。

「いま平和と憲法を考える」とある作家の体験から「テーマに「神風」と書かれた鉢巻(写真)を締め工場で働いた自らの体験を交えて戦争の悲惨さを語りました。「私とかかわりのあつた町も、学校も、勤務先の工場も、何もかもが焼き尽くされて、100万人が家を焼け出され、約10万人もの尊い命が奪われてしまいました。当時12歳だった私自身生きのびたのが不思議だ」と過去に体験した悲惨な出来事をリアルに語り、「戦争をきちゃんと伝えることが平和と福祉につながる」と強調しました。

原発問題では自ら訪問した南相馬市の現状に、とても終息宣言の状況ではない。再稼働や輸出などもつてのほかだと訴えました。

江東区議会では来年3月の区立小中学校の卒業式に、「君が代斉唱、日の丸に敬礼をしない議員は、議長代理として指名しない」と言い出した議長に、自民、公明、民主、みんなの各党派も同調して、憲法の保障する内心の自由を侵害し、数々の力で議会の民主的運営を壊す事態となっています。

この状況を知った区民から「内心の自由を踏みこむ暴挙が顕著になってきました。憲法を変えるという動きが顕著になってきました。個人としてはありがたいと思うが、党派としては反対、公明党議員「バラまきはよくない」「不公平になる」、みんなの党議員「所得制限がない」などの意見で残念ながら条例案は不採択となりました。しかしどの党派も高齢者への対策の必要性について否定することができません。日本共産党区議団は、施策の拡充を求め引き続きがんばります。

共産党区議団は、11月末から始まった区議会第4回定例会に「高齢者入院見舞金条例」を議員提案しました。

安倍自公政権の社会保障切り捨ての政策のもとで、とりわけ高齢者にはこの間の医療・介護の負担増と給付の切り下げなどの負担が大変な上に、来年度以降も年金引き下げや70才、74才の医療費負担の引き上げ、国

保・後期高齢者保険料の引き上げ、消費税増税などが予定されています。共産党区議団としてこれまで予・決算委員会や予算修正の提案などで高齢者

制度の内容は65歳以上の区内在住の高齢者が入院した場合、入院時の高齢者を励まし、身の回り品などを購入できる見舞金として、

「個人としてはありがたいと思うが、党派としては反対」というのが、会派としては反対、公明党議員「バラまきはよくない」「不公平になる」、みんなの党議員「所得制限がない」などの意見で残念ながら条例案は不採択となりました。

今ならまだ間に合います。その今に一声を惜しんでほならない。小さな勇気を山ほど集めて、大きな勇気を必要とする深刻な事態の到来を防がなければ、と来年度から第26回大会を開催します。

日本共産党区議団は、

「いま平和と憲法を考える」とある作家の体験から「テーマに「神風」と書かれた鉢巻(写真)を締め工場で働いた自らの体験を交えて戦争の悲惨さを語りました。

江東区議会では来年3月の区立小中学校の卒業式に、「君が代斉唱、日の丸に敬礼をしない議員は、議長代理として指名しない」と言い出した議長に、自民、公明、民主、みんなの各党派も同調して、

この状況を知った区民から「内心の自由を踏みこむ暴挙が顕著になってきました。憲法を変えるという動きが顕著になってきました。個人としてはありがたいと思うが、党派としては反対、公明党議員「バラまきはよくない」「不公平になる」、みんなの党議員「所得制限がない」などの意見で残念ながら条例案は不採択となりました。

今ならまだ間に合います。その今に一声を惜しんでほならない。小さな勇気を山ほど集めて、大きな勇気を必要とする深刻な事態の到来を防がなければ、と来年度から第26回大会を開催します。

### 脚懸

厳しい冬の到来が予想される師走です。月々1万3千円余も削減された年金改定通知書が共済組合から、マイナ



「松平定信と江東」

江戸時代の切り絵図



概説  
**江東の歴史**  
(28)

定信は將軍吉宗の孫で、田安宗武の七男として生まれて白河城主松平家をつぎ、1787(元明7)年に老中主席となって寛政改革を実施しました。

定信は、天明の飢饉で多くの人が死んだため、その備えとして各藩に米を蓄えさせ、1798(寛政10)年、常盤1丁目にも米蔵11棟をつくらせました。これは明治の初めまで残っていました。また、きびしい俵約令を出し、学問の統制をはかり、文芸書なども風俗を害するとして出版の取り締まりを強めました。

流行作家山東京伝が手鎖50日になっただけでなく、出版した蔦屋も財産半減の処分を受けました。駿河小島藩士の恋川春町は「鬚鬢返文武二道」という黄表紙(滑稽本)で、定信の政治を批判した罪を問われて自尽しました。秋田佐竹藩士の手柄岡持も朋誠堂喜三二の筆名で「文武二道万石通」を書き、同じ罪で執筆を禁止されます。三好1丁目の一乗院に墓があります。美人画の喜多川歌麿は、1804(文化元)年の「太閤五妻洛東遊観之図」で手鎖50日の刑を受けました。

寛政改革は商人や農民に大きな打撃をあたえ、あまりにもきびしかったので、人々の不満が高まり、定信は6年間で老中をやめさせられました。

政界から引退した定信は楽翁と号して、入船町(牡丹3丁目)の松平越中守の下屋敷内の洲崎海荘に住み、文芸や学問の研究をつづけました。そこは3万平方メートルの広さで、庭に海水をひき製塩をしたといひます。

定信は1829(文政12)年5月13日、72歳で没しました。霊巖寺の墓の隣には定信の妻の墓が、周囲には松平一族の墓があります。東京都は毎年命日に墓前祭をおこなっています。

# 江東社保学校「無縁社会とどう向き合うか」

講演：板垣淑子さん (NHKチーフプロデューサー)



地域の居場所づくりと  
社会保障制度の抜本改革を!

12月4日、NHKチーフプロデューサーの板垣淑子さんを迎えての社保学校「無縁社会とどう向き合うか」が江東区社会保障推進協議会主催で開催されました。

板垣さんは、日本では「定年」「卒業」という考え方が強く、仕事が終わることによって「仕事での縁」がなくなり、「地域での縁」もなくなり、「そこから「孤独死」につながるケースが多いと話しました。それに対して、ヨーロッパでは「定年」「第二の仕事」「仕事のプロ」という考え方があり、NPOなど地域で活動(仕事)する場所があることを紹介しました。

近年では非正規雇用といった不安定な働き方が増えた結果、突然、仕事の縁を断たれてしまうケースも数多くあり、無縁社会は決して高齢者だけの問題ではありません。講演では、無縁社会に引き込まれ、自殺未遂に追い込まれ、再び社会復帰へのサポートをしている地域(NPO団体)の活動が紹介されました。自殺に追い込まれてしまう人たちに共通しているのは「自分は誰にも(社会に)必要とされていない、生きる価値がない」と感じていること。自分が誰かに必要とされていると感じたときに再び、社会への接点をみつけていくことができる。



社会保障制度を改めていくこと。第二には、定年やリストラなどで企業を退職したり解雇されてしまった人たちが、孤立してしまうのではない、地域を支えていく立場になれる居場所をつくっていくこと」と訴えました。



佐藤巖会長は、「都議選・参院選での日本共産党の躍進は、私たち守る会の要求実現に明るい展望を開いた」と話し、班会議で要求を出し合っ て実現に向けた運動を広げたいことと呼びかけました。来賓として参加したあぜ上三和子都議は、都営住宅や特養ホームの増設など要求実現に向けた活動報告を行いました。また、東部法律事務所の大江弁護士、すがや俊一区議が来賓挨拶。組織拡大の決議や予算などが全会一致で可決され、新しい役員が選出されました。

## 特定秘密保護法は廃止へ追い込もう!

民主主義を破壊する



砂町銀座商店街で署名を訴えるあぜ上三和子都議と正保みきお区議  
民主主義を根底から破壊する秘密保護法が国会で強行採決され、日本中で怒りの声があがっています。廃止へ向けた宣伝行動は砂町銀座商店街など区内各地で取り組まれています。  
11月23日、中の橋商店街では

日本共産党女性後援会が、15名の参加で宣伝を行いました。あぜ上三和子都議、すがや俊一区議が「秘密の範囲が無制限に広がるが、それを決めるのは、首相や大臣など閣僚。政府の都合でなんでも隠すことができ、一方的に処罰の対象になりかねない」とその危険性を訴えました。

宣伝を聞いていた商店街の店主が「戦前の治安維持法のような恐ろしい法律。なんとしても廃止へ追い込んでほしい」と語りながら署名。一時間の行動で62筆の署名が寄せられました。

- 行事予定
- 1月4日(土) 11時  
『消費税増税反対署名宣伝』  
富岡八幡宮前、消費税をなくす会
  - 1月9日(木) 18時  
『江東区職労旗開き』 区役所8階食堂
  - 1月22日(水) 18時  
『江東区労連旗開き』 東京土建江東支部会館
  - 1月30日(木) 18時半  
『東京土建江東支部旗開き』  
ティアラ  
ことう  
大会議室

